大阪港湾労働組合協議会　事務局

２３春闘決起集会報告

記

１、日　時　：２０２３年３月２日（木）

２、時　間　：8時～8時３０分

３、場　所　：高野堀船内センター前

４、規　模　：３５０名

５、内　容　：小嶋議長より「約３年ぶりの早朝決起集会の開催となった。２月１５日に開催した第１回中央港湾団交により２３港湾春闘がスタートした。大企業は大幅な賃金アップを表明しているが、港湾関係者は大多数が中小である。春闘原資を確保するために、元請は荷主・ユーザーから、下払い料金を含めた料金を完全収受してもらいたい。また、大阪港では２５年に大阪・関西万博が控えている。承知のとおり、現在、ＤＩＣＴを中心とする夢洲地区での渋滞問題を解決すべく、港運協会を含めて港湾局や博覧会協会など関係する団体と協議を行っているが、意図する回答が得られていない。万博開催が決定した以上、出来る事は協力するスタンスできたが、本船を咲洲地区へシフトする、ゲートオープンの時間延長を行うなど、港運事業者や港湾労働者の了承を得ないまま、好き勝手に報道している。この様な状態では協力できない。」として、大港労協の運動の経過報告を行った。また、同日は大港労協２３春闘臨時大会開催日でもあり、全国港湾より玉田書記長に来賓として来阪していた為、決起集会にも参加して頂いた。玉田書記長からは「決起集会に参加して頂いた大勢の組合員の皆さんを見て、改めて身が引き締まる思いで２３春闘を全力でたたかいたい」との挨拶と、中央港湾団交の進捗状況の報告をして頂いた。最後は、小嶋議長の団結ガンバロー三唱にて集会を締め括った。

以上